

## BNP検査

### 心臓の異常を早期に発見できる血液検査



#### ◎BNPとは・・・

心臓から分泌されるホルモンのひとつで、心臓の負担が大きいほど多く分泌されます。血中のBNP濃度を測定することで、心臓の負担の程度を把握することができ、心臓の異常の早期発見に大変有効な検査です。

#### ◎発見しにくい心不全に有効

心電図や胸部レントゲンでは発見できない心不全や症状の出にくい心不全の発見には、BNP検査が効果的です。

当センターでは、人間ドック・生活習慣病予防健診のオプションとしてBNP検査を受けていただく事ができます。

【検査費用】3,000円

ご質問、その他の検診のことなど、お気軽にお問い合わせください。

高島市民病院健診センター ☎(36) 8082

## 助産師指導外来を開設しています

高島市民病院では、助産師指導外来を行っています。本来、妊娠・出産は病気ではなく正常な経過をたどるものです。しかし、妊婦を取り巻く環境はさまざまであり、中には一人悶々と悩んでおられる方も少なくありません。またさまざまなリスクを持った妊婦もたくさんおられます。そのため、お一人おひとりの思いを知り、妊娠・出産における専門的な相談・指導を行うことで、順調で快適な妊娠期を過ごしていただきたいと願っています。

医師の診察の後に助産師が一人約10分～30分間、保健指導を行います。妊娠週数に応じた要点や出産への心構え、不安などその人に合った保健指導を行っています。オリジナルのパンフレットをお渡しし、週数によっては分娩監視装置を装着してお母さんのお腹の張りや赤ちゃんの様子もみていきます。妊婦からは「助産師さんだと尋ねやすい」「専門的な内容なので納得できる」「心配なことを聞いてもらえたからホッとした」という感想をいただいています。

妊娠・出産は女性の一生の一大イベントです。元気な赤ちゃんを安全にそして安心して出産していただくお手伝いをさせていただきます。



高島市民病院 ☎(36) 0220

## 産科医療補償制度の申請期限は満5歳の誕生日までです

### ◆産科医療補償制度とは

分娩に関連して発症した重度脳性まひのお子さんをご家族の経済的負担を速やかに補償するとともに、原因分析を行い、同じような事例の再発防止や産科医療の質の向上を図ることを目的として、(公財)日本医療機能評価機構が実施している制度です。

補償の対象と認定されると、補償金が支払われるとともに、脳性まひ発症の原因分析が行われます。

#### 〈補償対象〉

満5歳未満のお子さんで、次の基準をすべて満たす場合、補償の対象となります。

- ・在胎週数 33 週以上で出生体重 2,000 g 以上、または在胎週数 28 週以上で所定の要件
- ・身体障害者手帳 1・2 級相当の脳性まひ
- ・先天性や新生児期の要因によらない脳性まひ

(生後6か月未満で亡くなった場合は、補償の対象となりません)

#### 〈申請期間について〉

申請できる期間は、お子さんの満1歳の誕生日から満5歳の誕生日までです。

詳細については、出産した分娩機関または下記へご相談ください。

産科医療補償制度専用コールセンター

0120-330-637

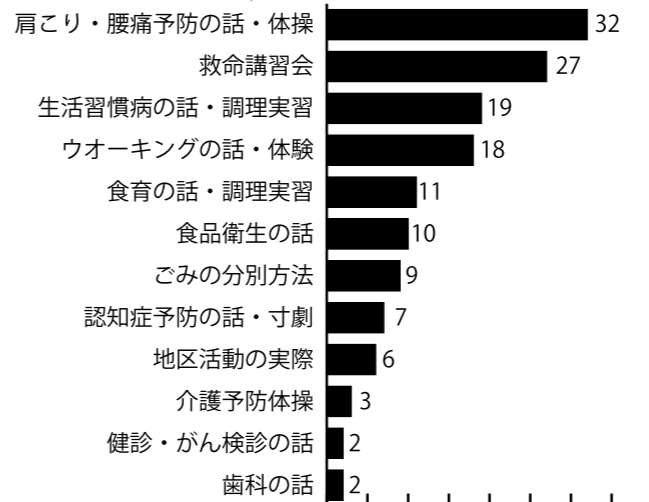
受付時間：9時～17時(土日祝日除く)

産科医療補償制度ホームページ

<http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp/>

このコーナーに関するお問い合わせは、健康推進課まで ☎(25) 8078

### 印象に残っている講座をきいてみました (人)



### ○参加者の感想

- Aさん：最初は回数が多いと思いましたが回を重ねるごとに楽しみになってきました。
- Bさん：これからダイエット、健康維持のため、ウォーキングに取り組みたいと思います。
- Cさん：自分自身の健康について色々考えることができました。
- Dさん：今回の講習会に参加していろいろな体験ができました。これからの地域活動に生かしていきたい。



健康推進員による男性の料理/三枚おろし

平成26年度も養成講座を行います。自分の健康、家族の健康について振り返りながら、地域のボランティア活動に興味のある方は、お住まいの区長・自治会長さんまでお申し出ください。

平成22年度から、男性の受講者も増え、現在は6人の方に健康推進員として活動していただいています。



養成講座/運動

## 高島市健康推進員養成講座

# 70人の推進員が誕生

平成25年度健康推進員養成講座が終了し、各区・自治会から推薦をいただいた70人(うち男性1名含む)の方が修了されました。

健康推進員養成講座は、地域において健康づくりのリーダーとしての実践、普及啓発、指導を行う人を養成する講座で、年間40時間(約8日間)の講座です。



養成講座/健康講話

## 「麻しん(はしか)・風しん」の予防接種はお済みですか?

麻しん(はしか)は感染力が強く、空気感染で広まるため、手洗いやマスクだけでは予防しきれません。また、風しんは咳や会話などにより、ウイルスが飛び散り、それを吸い込むことで感染します。

麻しん(はしか)・風しんの発症を予防するためには、麻しん・風しん混合ワクチンを接種することが一番の予防であり、十分な免疫をつけるには2回の接種が必要です。

### 《対象年齢》

#### 1回目

1歳から2歳になるまで

#### 2回目

小学校就学前の1年間(5歳以上7歳未満)

※対象年齢の間は公費負担となるため、無料で接種できます。忘れずに接種をお済ませください。

